

## 再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担当課: 道路局 国道・技術課

担当課長名: 西川 昌宏

事業名	一般国道191号(山陰自動車道)益田西道路 <small style="font-size: small;">(山陰自動車道) 益田西道路</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自: 島根県益田市戸田町 至: 島根県益田市飯田町	延長	9.1 km		
事業概要					
<p>一般国道191号は、山口県下関市から萩市、島根県益田市を経由し、広島県広島市に至る約291kmの主要幹線道路である。</p> <p>一般国道191号益田西道路は、一般国道191号の益田市戸田町から益田市飯田町に至る延長9.1kmの自動車専用道路であり、災害時に強い道路ネットワークの確保、安全性・走行性の向上、企業活動の支援、周辺地域の観光活性化支援、地域医療の支援を目的とした事業である。</p>					
R2年度事業化	-	R4年度用地着手	工事未着手		
全体事業費	約330億円	事業進捗率 (令和6年3月末時点)	約7%	供用済延長	0.0km
計画交通量	10,500 ~ 14,800 台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体)	EIRR (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	1.3 (1.3)	5.9% (5.8%)	2,297/9,265億円	3,831/11,805億円	令和6年
	1.6 (1.9) [2%] 1.9 (2.3) [1%]		事業費: 1,999/8,500億円 維持管理費: 284/712億円 更新費: 13/53億円	走行時間短縮便益: 3,064/9,531億円 走行経費減少便益: 621/1,806億円 交通事故減少便益: 147/468億円	
	(残事業)	(残事業)	感度分析		
1.7 (1.4)	8.1% (6.5%)	交通量	B/C=1.1~1.5(±10%)	交通量	B/C=1.5~1.9(±10%)
2.3 (2.0) [2%] 2.8 (2.4) [1%]		事業費	B/C=1.2~1.3(±10%)	事業費	B/C=1.5~1.8(±10%)
		事業期間	B/C=1.3~1.3(±20%)	事業期間	B/C=1.6~1.7(±20%)
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞損失の削減が期待される</li> <li>・バス路線(石見空港線、小浜江崎線、蟠竜湖線)の利便性向上が期待される</li> <li>・萩市から益田駅(特急停車駅)へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・萩市から浜田港(重要港湾)までのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高規格幹線道路「山陰自動車道」に並行する自動車専用道路の一部として位置づけられている</li> <li>・隣接した日常活動圏中心都市間(萩市須佐~益田市間)を最短時間で連絡する路線を構成する</li> <li>・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市から松陰神社(R4 観光入込み客数 31 万人/年)等へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>⑤安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次救急医療機関(浜田医療センター)へのアクセス向上が期待される</li> </ul> <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1次緊急輸送路道路である国道191号の代替路を形成する</li> <li>・並行する現道の要防災対策箇所が回避される(1箇所)</li> </ul> <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CO2排出量の削減が期待される</li> </ul> <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NOx排出量の削減が期待される</li> <li>・SPM排出量の削減が期待される</li> </ul> <p>⑨他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模事業(一般国道191号益田・田万川道路、一般国道9号益田道路)と一体的に整備する必要がある</li> <li>・「島根創生計画(R2.3)」、「第6次益田市総合振興計画(R3.3)」に位置づけられている</li> </ul>					

関係する地方公共団体等の意見

対応方針（原案）については妥当である。  
一般国道191号益田西道路は、地域産業の活性化や地域間交流の促進に大きく寄与するとともに、国道191号の事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援に必要な不可欠な路線であることから早期完成を図って頂きたい。  
また、その他の事業中区間につきましても事業促進を円滑に行い、早期に山陰道の全線開通を図って頂きたい。

事業評価監視委員会の意見

・事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。  
・審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- R3年度に益田・田万川道路が新規事業化
- R5年度に益田道路（久城～高津）が新規事業化
- R5年度に静間・仁摩道路、大田・静間道路が開通

事業の進捗状況、残事業の内容等

令和6年3月末時点で、事業全体の進捗率は約7%、用地の進捗率は約28%である。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、用地買収、調査・設計を行っており、早期開通を目指して事業を推進している。

施設の構造や工法の変更等

技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したものの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。( )内は社会的割引率の値)

※B/Cの値は、浜田JCT～小月JCTを対象とした場合、( )書きの値は事業化区間にした場合の費用便益分析結果。